

未来の柔道部員たち

大正8年に造られて、登録有形文化財にも登録されている、歴史ある柔道場。その畳で仲よし兄弟2人が楽しそうに乱取り稽古中。それを目を細めて眺めるおじいちゃんは朝日高OB。聞けばこの子たちのパパもOBとか。母校から柔道部が消えて久しいけれども、お孫さん達の姿に未来の朝日高柔道部員が重なって見えたようです。

(昭57卒 山田 久美子〈旧姓 藤家〉)



100年近い歴史の柔道場は今も現役



未来の朝日高柔道部員たち?

階段校舎の思い出

47年卒は入学した時、六高時代の木造校舎で学び、一年生の夏休み明けに真新しい4階建ての階段校舎に移りました。天井がガラス張りのせいか夏暑く冬寒い。眩しいので天窓は遮光材で覆われ、昼間でも電気を点けての授業でした。今は駐車場となった場所にたたずむと、あの頃の風景が心に浮かびます。

(昭47卒 則安 資子〈旧姓 小出〉)



ここにかつて階段校舎が有りました



ここはまるで美術館



美術部員らの力作が並ぶ会場

静けさの中、素晴らしい絵画達が語りかけてくる。指導教員と部員の作品あわせて20点は本当に見応えがあり、訪れた人は

「どこの美術館かと思う」と感嘆しながら、一点一点を熱心に鑑賞していました。

(昭57卒 山田 久美子〈旧姓 藤家〉)

どんぶりの中身に話の花が咲く

当日は五目うどん、カレーといった懐しのメニューが提供されました。五目うどんは310円でありながら、うどんの上にはゆで卵、かき揚げ、かまぼこ、わかめ。大先輩からは、昔はもっと簡素だったとひと言。確かに今のうどんはボリューム満点です。どんぶりを前にして思い出話に花が咲きました。

(平14卒 中塚 啓太郎)



ボリューム満点の五目うどん

能登原節も当時のままに

目玉の一つが恩師の特別授業。その一人が英語の能登原先生と聞いて是非参加せねば!と思った同窓生は多かったようです。教室は満席で立ち見も出る大盛況ぶりでした。

老化防止という帽子姿で登場した先生はお年を召してもダンディで、今なお活躍の様子。昔ながらの滑舌良いトーク。入れ歯が外れると「th」の発音ができないというエピソードが教室を沸かせていました。

(昭47卒 則安 資子〈旧姓 小出〉)



当時のままの手振り「英語」の授業

中庭の大作

大作が並ぶ、凛とした空気の手道展会場。中庭の大きな垂れ幕も書道部員が制作。「大作が好き?」との質問に意外な答えが返ってきました。「大作も好きですけど、やはり写経が心が落ち着くので好きです。」さすが朝日高書道部と唸らせる、凛とした雰囲気、若さと鋭さを感じさせる書道ガールズでした。

(昭57卒 山田 久美子〈旧姓 藤家〉)



中庭の大作を仕上げた部員たち